

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

I 学力調査の結果【小学校・義務教育学校前期課程】

1 教科に関する調査結果（平均正答率）

	国語	算数
全国	67.2	62.5
広島県	69	64
府中市	71	63
自校	66	55

2 調査結果にみられる特徴（相当数の児童ができています）

【国語】

読むことの観点において、目的に応じて必要な情報を見つけたり、情報を関係づけて整理したりすることができている。

【算数】

C変化と関係の観点において、日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できている。

3 調査結果にみられる課題及びその課題に対する改善策

【国語】

課題	課題に対する改善策
複数の資料からそれぞれ分かることを書かないといけませんが、片方の資料からしか取り出せていない。（B書くこと）	資料の読み取りや文字数の制限等の条件を2つ以上設定することで、書く力を伸ばす。 ふり返しを書く際にも条件を設定し、日常的に条件付きの文章を書く経験をさせる。

【算数】

課題	課題に対する改善策
正三角形の定義は分かっている。しかし、その正三角形を一回折ってあるという状況把握ができていない	問題を読み取る力をつける。既習事項を活用できるように、条件を変えて問題を解いたり、作問の活動を授業に取り入れたりする。 ICTを用いて進める場面と具体物を使って活動する場面とを教員が意図して授業をつくる。

4 学習状況調査（児童質問紙）の結果にみられる傾向

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも高かった項目

（自校95%、全国90%）

- ・友達関係に満足していますか。

5 生活習慣・学習環境などに関する改善のポイント

肯定的な回答の割合が、全国平均値よりも低かった項目	改善のポイント
（自校79%、全88%） ・先生はあなたのよいところを認め	個別最適化を図り、児童一人ひとりに「できた」を感じさせて、肯定的評価をする場面を増やす。そして、教員が声掛け

てくれていると思いますか。

やコメント等で見える評価をする。
小さなことでも具体的に褒める。そして家庭にも伝える。